

Title	表紙・目次・奥付
Author(s)	
Citation	ディアファネース -- 芸術と思想 = Diaphanes: Art and Philosophy (2018), 5
Issue Date	2018-03-30
URL	http://hdl.handle.net/2433/233779
Right	
Type	Others
Textversion	publisher

ディアファネース

芸術と思想

京都大学大学院人間・環境学研究科
岡田温司研究室

紀要 **2017** 年度 **N° 5**

ディアファネース——芸術と思想

京都大学大学院人間・環境学研究科岡田温司研究室紀要 第五号 2017 年度

目次

【論文】

- 岡田温司
モダニズムとその脱構築
——映画のなかのポロック、ウォーホル、バスキア…………… 5
- 鯖江秀樹
動体写真という反証
——ウンベルト・ボッチョーニ試論…………… 25
- 田口かおり
近現代美術の「臭気」をめぐる一考察
——展示、收藏、保存、修復のケーススタディ…………… 45
- 仲間絢
バンベルク大聖堂の《騎馬像》と《聖母像》
——『雅歌』の伝統と聖堂彫刻のイメージ・プログラム…………… 65
- 片桐亜古
ルイジ・パレイゾン「形成性の理論」にみられる形の支配の様相
——能産的形 (forma formans) と所産的形 (forma formata)、概念構造の成立と意義…………… 89
- 村井幸輝郎
旧約聖書詩編 137 を発端とする音楽の禁止
——Ch=V・アルカンはいかにそれを回避したのか？…………… 107

【展評・書評】

- 金井直
第 57 回ヴェネツィア・ビエンナーレ…………… 129
- 福間加代子
サルヴァドール・ダリ、ガラ、リカルド・サンズ、1949-1956…………… 135
- 秦明子
京谷啓徳『凱旋門と活人画の風俗史——儂きスペクタクルの力』…………… 145
- 欧文要旨…………… 151

【編集後記】

『ディアファネース』第五号をお届けします。論文が六本、展覧会評が二本、書評が一本と、今号もとても充実した内容に仕上がりました。当研究室の異種混交的な雰囲気を反映したかのように、様々な時代や分野を扱った内容となっております。入稿ぎりぎりまで推敲してくださいました執筆者の熱意が読者の皆様にも届きましたなら、編集幹事としてこれに勝る喜びはございません。

さて、『ディアファネース』は一昨年より京都大学学術情報リポジトリ紅 (<https://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/dspace/handle/2433/216966>) にもアップロードされております。これまでの号もご覧いただけますのでそちらもぜひご利用くださいませ。(T.E.)

【編集委員】

青山勝 (大阪成蹊大学芸術学部)
秋庭史典 (名古屋大学大学院)
上村博 (京都造形芸術大学芸術学部)
岡田温司 (京都大学大学院人間・環境学研究科)
金井直 (信州大学人文学部)
喜多村明里 (兵庫教育大学)
篠原資明 (京都大学名誉教授、高松市美術館館長)
松原知生 (西南学院大学国際文化学部)

【編集幹事】

遠藤太良
雑賀広海
福田安佐子

ディアファネース——芸術と思想 第五号

発行日：平成 30 年 3 月 30 日

編集・発行：京都大学大学院人間・環境学研究科岡田温司研究室

〒 606-8501 京都市左京区吉田二本松町

印刷：株式会社 キクザワ

〒 602-0005 京都市上京区寺之内通り新町西入る妙願寺前町 506

Diaphanes: Art and Philosophy

Number 5

The Bulletin of Atsushi Okada Laboratory

Graduate School of Human and Environmental Studies, Kyoto University

Issued on 30 March 2018